

## 令和元年度（平成31年度）事業報告書

### 第1 基本財産

令和元年度（平成31年度）末基本財産 3,940,161千円

〔	運営基金	526,799千円	〕
〔	助成基金	3,413,362千円	〕
〔	再掲 保健福祉基金	: 2,379,070千円	〕
〔	子ども希望基金	: 1,034,292千円	〕

※ 金額は、取得金額（基本財産元本）

### 第2 庶務の事項

#### 1 役員・評議員構成

（令和2年3月31日現在、敬称略、五十音順）

役 職	氏 名	備 考
理 事 長 理 事	小 向 正 悟	公益財団法人いきいき岩手支援財団理事長
	川 井 博 之	株式会社岩手日報社常勤監査役
	木 村 宗 孝	一般社団法人岩手県医師会常任理事
	坂 口 繫 治	一般社団法人岩手県社会福祉士会会長
	新 屋 浩 二	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会専務理事
	高 橋 進	岩手県保健福祉部副部長
	平 藤 淳	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長
	藤 沢 清 美	一般社団法人岩手県芸術文化協会副会長
監 事	梅 木 敬 時	梅木敬時税理士事務所所長
	松 川 求	元岩手県環境生活部長
評 議 員	及 川 吏 智 子	公益社団法人岩手県看護協会会長
	坂 下 浩 志	軽米町健康福祉課総括課長
	菅 原 和 弘	岩手県中小企業団体中央会専務理事
	平 賀 圭 子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて理事長
	細 江 達 郎	岩手県立大学名誉教授
	米 田 ハツエ	岩手県民生児童委員協議会副会長
	村 上 淳	盛岡市保健福祉部長
	村 田 東 助	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会会長

## 2 理事会の開催状況

### (1) 第 28 回理事会の開催及び決議の省略（定款第 36 条第 2 項）

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 評議員の補欠選任について

議案第 2 号 提案を可決する旨の評議員会の決議のあったとみなされる日

令和元年 5 月 8 日（水）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向正悟

### (2) 第 29 回理事会

ア 開催日：令和元年 5 月 29 日（水）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 平成 30 年度事業報告及び収支決算について

議案第 2 号 平成 31 年度補正予算について

議案第 3 号 収支予算書に対する注記について

議案第 4 号 第 26 回評議員会の開催日程について

### (3) 第 30 回理事会

ア 理事会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 評議員の補欠選任について

議案第 2 号 提案を可決する旨の評議員会の決議のあったとみなされる日

令和元年 9 月 3 日（火）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟

ウ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 小向正悟

### (4) 第 31 回理事会

ア 開催日：令和 2 年 3 月 17 日（火）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 令和元年度（平成 31 年度）補正予算について

議案第 2 号 特定費用準備資金等取扱規程の制定について

議案第 3 号 令和 2 年度事業計画及び収支予算について

議案第 4 号 収支予算に対する注記について

議案第 5 号 令和 2 年度資産運用計画について

議案第 6 号 第 28 回評議員会の開催日程について

### 3 評議員会の開催状況

#### (1) 第 25 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

ア 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 評議員の補欠選任について

議案第 2 号 提案を可決する旨評議員会の決議のあったとみなされる日

令和元年 5 月 8 日（水）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向正悟

ウ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向正悟

#### (2) 第 26 回評議員会

ア 開催日：令和元年 6 月 20 日（木）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議 事

議案第 1 号 平成 30 年度収支決算について

議案第 2 号 平成 31 年度補正予算について

議案第 3 号 収支予算書に対する注記について

#### (3) 第 27 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

ア 評議員会決議のあったものとみなされる事項

議案第 1 号 評議員の補欠選任について

議案第 2 号 提案を可決する旨の評議員会の決議のあったとみなされる日

令和元年 9 月 3 日（火）

イ 決議のあったとみなす事項の提案者 理事長 小向 正悟

ウ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 小向 正悟

#### (4) 第 28 回評議員会

ア 開催日：令和 2 年 3 月 27 日（金）

イ 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

ウ 議事

議案第 1 号 令和元年度（平成 31 年度）補正予算について

議案第 2 号 特定費用準備資金等取扱規程の制定について

議案第 3 号 令和 2 年度事業計画及び収支予算について

議案第 4 号 収支予算書に対する注記について

#### 4 監事監査

- (1) 実 施：令和元年 5 月 20 日（月）
- (2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- (3) 監査事項：平成 30 年度事業実施状況及び収支決算について

#### 5 監事による上半期会計監査

- (1) 実 施：令和元年 10 月 24 日（木）
- (2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- (3) 調査事項：令和元年度上半期の会計状況の監査指導

#### 6 全国明るい長寿社会づくり推進機構関係

- (1) 令和元年度第 1 回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会  
開催日：令和元年 7 月 2 日（火） 場所：東京都  
内 容：平成 30 年度事業報告及び決算報告及び令和元年度事業の実施等について
- (2) 北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会  
開催日：令和 2 年 2 月 13 日（木） 場所：札幌市  
内 容：全推連幹事会報告及び情報交換等
- (3) 令和元年度第 2 回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会  
開催日：令和 2 年 2 月 28 日（金） 場所：東京都・・・委任状提出  
〔 内 容：令和 2 年度事業計画及び収支予算等について  
第 33 回全国健康福祉祭岐阜大会概要説明 ほか 〕

### 第3 実施事業

※（ ）内数値は平成30年度実績

#### I 高齢者等健康生きがづくり支援・福祉サービス推進事業(公益事業1)

[高齢者等が健康で生き生きと暮らすことができる地域社会の形成及び保健・医療・福祉サービス等の質の向上に寄与する事業]

##### 1 少子高齢社会に対応する民間・地域等の取組み支援

###### (1) 「いわて保健福祉基金」助成事業(継続)

保健福祉又は地域福祉の増進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業や高齢者の社会貢献活動に対して助成した。

###### ア 一般枠分

33事業 25,411千円 (35事業 26,026千円)

###### ①在宅保健福祉普及向上事業

9事業 6,484千円 (6事業 4,564千円)

###### ②健康、生きがづくり推進事業

11事業 9,520千円 (16事業 11,618千円)

###### ③ボランティア活動活性化事業

4事業 3,086千円 (5事業 4,247千円)

###### ④その他の事業

8事業 6,321千円 (8事業 5,597千円)

###### イ 特別枠分(ご近所支え合い活動助成分)

53事業 6,634千円 (56事業 6,172千円)

###### (2) 「いわて子ども希望基金」助成等事業(継続)

子育て支援や子どもの健全育成など、少子化対策の推進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業に対して助成した。

###### ① i・出会い応援事業

14事業 3,508千円 (13事業 2,893千円)

###### ②地域子育て活動支援事業

31事業 9,863千円 (37事業 11,270千円)

###### ③子育てにやさしい職場環境づくり助成事業

14団体 3,533千円 (13団体 2,857千円)

#### イ 経営者等セミナー開催事業（継続）

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」への理解やその取り組み等を推進するため、企業や社会福祉施設の経営者等を対象にサイボウズ株式会社 和田武訓氏による講演、(株) タカヤ 山本克己氏、リコージャパン (株) 岩手支社 菊池研太氏、(株) ぴーぷる盛岡事業所 新井田未来氏をパネリストに招き、岩手県立大学准教授 庄司 知恵子氏コーディネートのもと、子育てと仕事の両立についてディスカッションを行った。

12月13日 盛岡市「プラザおでって」 参加者 56人（54人）

## 2 少子高齢社会に関する調査研修及び普及啓発

### (1) 調査研究事業（継続）

「企業における子育て支援体制についての調査」

岩手県立大学との連携により、子育てに係る企業支援策を考えると同時に、子育て支援環境の整備につなげるために実施した。令和元年11月～令和2年3月

### (2) 普及啓発事業（継続）

情報誌の発行、インターネット及び広報媒体の活用により、少子高齢社会に対する県民の理解と関心を深めるための啓発活動を行った。

ア 情報誌「いきいきイーハトーブ」の発行（ホームページ掲載）

4回：6月（第25号）、9月（第26号）、12月（第27号）、3月（第28号）

イ ホームページの随時更新による最新情報提供

ホームページのアクセス数： 55,883件（40,393件）

## 3 高齢者等の健康の保持増進と生きがいの高揚推進

### (1) 明るい長寿社会づくり推進事業（継続）

高齢者の健康の保持と生きがいの高揚を図るため、岩手県長寿社会健康と福祉のまつりの実施や第32回全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣等を行った。

ア 第31回岩手県長寿社会健康と福祉のまつり事業

種 目 区 分	開 催 期 日	開 催 場 所 等	参 加 者 数	
県 民 長 寿 文 化 祭	作品展	R1.6.7(金) ～9(日)	盛岡市市民文化ホー ル(出展数97点)	812人 (690人)
	囲碁大会	R1.12.8(日)	岩手教育会館	64人 (46人)
	将棋大会	R1.7.14(日)	北上市総合福祉セン ター	44人 (37人)
	小 計			920人 (773人)
県 民 長 寿 体 育 祭	スポーツ交流 大会(9種目)	R1.5.23(木) ～9.8(土)	盛岡市、花巻市 奥州市	1,038人 (1,256人)
	ふれあいスポ ーツ交流大会 (4種目)	R1.8.25(日) ～9.22(日) ※グラウンド・ゴルフは 雨天中止	盛岡市、住田町 一戸町	390人 (681人)
	いきいきシニ アスポーツ大 会(6種目)	R1.9.21(土)	雫石町	1,300人 (1,331人)
	小 計			2,728人 (3,268人)
合 計			3,648人 (4,041人)	

イ 第32回全国健康福祉祭和歌山大会参加推進事業

11月9日(土)から12日(火)まで和歌山県内で開催されたスポーツ交流大会等に県選手団を派遣した。

派遣選手等 145人、役員等5人 計 150人(参加費用の1/3を補助)  
(167人、役員等5人 計 172人)

#### 4 高齢者等への総合的な支援

##### 岩手県高齢者総合支援センター運営事業（継続）

（※当センターは県が平成21年度に設置し、当財団が運営を受託している。）

##### (1) 相談事業

###### ① 一般相談

高齢者の生活全般に係る電話及び来所相談に支援相談員が対応した。

月曜日から金曜日の9時から17時まで実施 相談件数 1,057件（1,177件）

###### ② 専門相談

弁護士、司法書士などにより専門性の高い法律、認知症、人生などの相談を実施した。 毎月3回 相談件数 127件（107件）

###### ③ 特別相談（シルバー110番特別相談デー）

老人福祉週間に合わせ、弁護士、医師などによる特別相談を実施した。

9月15日（土） 相談件数 20件（20件）

###### ④ 地域包括支援センターからの相談への支援

地域包括支援センター職員からの相談に社会福祉士、保健師、介護支援専門員が対応した。 相談件数 166件（154件）

##### (2) セミナー開催事業

###### ① 認知症セミナー

県民に認知症理解と予防を普及啓発するため、劇団の公演や若年性認知症本人である福田人志氏による講演等セミナーを開催した。

11月14日 奥州市前沢ふれあいセンター 参加者 182人（282人）

###### ② 高齢者権利擁護セミナーの開催

高齢者の虐待防止等に関わる高齢者の権利等の県民への理解の普及啓発を図るため、人生設計の講話を行うとともに、落語家桂枝太郎氏による講演を行った。

11月11日 盛岡市「いわて県民情報交流センター」 参加者 157人（393人）

##### (3) 認知症普及啓発事業

認知症の正しい知識と理解の普及啓発や認知症の人及び家族への支援を行った。

###### ア 認知症の本人及び家族向け電話相談

平成24年4月に設置した「いわて認知症の人と家族の電話相談」

（フリーダイヤル0120-300-340）の運営を認知症の人と家族の会に委託して実施した。

相談件数 68件（60件）

###### イ 地域交流集会

認知症の人や家族等を対象とした「つどい」を県内11市町村13地区で開催した。

129回 参加者 1,598人（141回 参加者1,686人）



ウ 認知症サポーター事務局の運営

- ・ 認知症キャラバン・メイト養成研修 1回 修了者数 86人  
(1回 修了者数 90人)
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施 22回 受講者数 413人  
(25回 受講者数 601人)
- ・ 認知症サポーター事務局情報交換会の開催 1回 22人 (1回 20人)

5 高齢者を支援する者の資質の向上を図るための研修事業（継続）

(1) 地域包括支援センター等への支援研修

高齢者介護や相談等に必要な専門知識・技術を習得するための研修を実施し、高齢者への総合的な支援を行った。

- ア 地域包括支援センター職員初任者研修 1回 69人 (1回 69人)
- イ 地域包括支援センター等の職員研修 10回 843人 (8回 775人)
- ウ リハビリテーション専門職等連携研修 2回 182人 ( - )
- エ 市町村地域包括支援センターが実施する研修への講師紹介等の支援  
5回 参加者 237人 (5回 参加者 221人)

(2) 権利擁護に関する研修

判断能力が十分でない高齢者の権利や財産を守る権利擁護に関する研修、事例検討会を広域振興局等と連携し実施した。 地域研修会 4回 198人 (4回 175人)

(3) 福祉用具・住宅改修に関する研修

要介護高齢者に適正な福祉用具の使用及び適切な住宅改修が図られるよう、福祉用具の使用及び住宅改修に関する知識、技術を習得するための研修を実施した。

- 福祉用具・住宅改修研修 4回 205人 (3回 167人)

(4) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

介護者の負担軽減や利用者の生活の質向上につながる介護ロボットの導入促進を図るため、展示・説明・相談会を開催した。

- ・ 介護ロボットフォーラムの開催

高齢者介護職員等を対象に1月17日に開催した。

- 盛岡市いわて県民情報センター 参加者 100人 (200人)

(5) 介護ロボット導入支援事業

介護ロボット導入に向け、活用研修会等を開催し、活用方法の支援など、メーカーとの調整を図り、導入支援を実施した。

- ① 研修会の開催 1回 64人 (1回 61人)
- ② 導入成果報告会の開催 1回 90人 (1回 109人)

③ 事業者とメーカーのマッチング支援 26 施設

(6) 認知症介護に関する研修事業

認知症介護サービスを提供する管理者や介護従事者等に対し、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施した。 修了者数： 784 人 (814 人)

- |                         |     |       |      |        |
|-------------------------|-----|-------|------|--------|
| ① 認知症対応型サービス事業開設者研修     | 1 回 | 12 人  | (1 回 | 14 人)  |
| ② 認知症対応型サービス事業管理者研修     | 2 回 | 100 人 | (2 回 | 90 人)  |
| ③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 | 1 回 | 36 人  | (1 回 | 33 人)  |
| ④ 認知症介護実践者研修            | 3 回 | 363 人 | (3 回 | 365 人) |
| ⑤ 認知症介護実践リーダー研修         | 1 回 | 69 人  | (1 回 | 65 人)  |
| ⑥ 認知症介護基礎研修             | 3 回 | 204 人 | (3 回 | 247 人) |

(7) 身体拘束に関する研修事業

介護保険施設等の職員を対象とし、身体拘束廃止・虐待防止に向けた啓発を図るための研修を実施した。 修了者数： 157 人 (157 人)

- |                              |     |      |      |       |
|------------------------------|-----|------|------|-------|
| ① 権利擁護推進員養成研修                | 1 回 | 91 人 | (1 回 | 89 人) |
| 身体拘束廃止等の取り組みを指導する職員を対象に実施    |     |      |      |       |
| ② 権利擁護看護実務者研修                | 1 回 | 66 人 | (1 回 | 68 人) |
| 医療的な観点から身体拘束廃止等に取り組む職員を対象に実施 |     |      |      |       |

(8) 地域づくりによる介護予防推進支援事業

市町村支援体制の整備に向けた普及啓発及び地域づくりアドバイザー派遣等を実施した。

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| ① 介護予防事業情報交換会 (各圏域) | 4 回 (一回)                  |
| ② 情報収集及び情報提供        | 33 回 (25 回)               |
| ③ 地域づくりアドバイザー会議の開催  | 3 回 (4 回)                 |
| ④ 地域づくりアドバイザー派遣等    | 22 市町村 94 回 (18 市町村 84 回) |

(9) 地域包括ケアシステム基盤確立事業

① 地域包括ケアシステム情報提供事業

市町村職員、高齢者、医療・福祉関係者等を対象とし、地域包括ケアシステムの普及啓発のための公開講座を開催した。 1 回 285 人 (1 回 120 人)

② 認知症初期集中支援チーム運営等研修事業

全市町村において平成 30 年 4 月には設置することとされている「認知症初期集中支援チーム」の円滑な運営を支援するため研修会を開催した。

2 回 77 人 (2 回 112 人)

③ 認知症地域支援推進員体制整備事業

全市町村において設置している「認知症地域支援推進員」の円滑な活動を支援する

ため研修会及び連絡会を開催するとともに認知症ケアの向上を図るため、認知症カフェ等に関する研修会を開催した。

ア 認知症地域支援推進員養成研修会	2回	84人	(1回 45人)
イ 認知症地域支援推進員連絡会	1回	35人	(1回 38人)
ウ 認知症カフェ推進研修会	1回	87人	(2回 127人)
エ 認知症SOSネットワークシステム研修会	1回	75人	( - )

#### ④ 地域ケア会議活用推進事業

市町村又は地域包括支援センターが開催する「地域ケア会議」の運営等について助言を行うために専門職を派遣するとともに、地域ケア会議に関わる関係者の資質向上を図るための研修会を開催した。

ア 専門職派遣 14市町村 14回(20市町 27回)(弁護士 4回(13回)、社会福祉士 3回(6回) リハビリテーション専門職 7回(8回))

イ 地域ケア会議参画者研修会 1回 41人( - )

#### ⑤ 生活支援サービスの充実・強化事業

介護予防事業へのリハビリテーション専門職の参画を推進するための研修会や連絡会を開催するとともに、全市町村において配置している「生活支援コーディネーター」の円滑な活動を支援するため研修会及び連絡会を開催した。

ア 介護予防事業へのリハ職参画に係る研修会 2回 68人(3回 127人)

イ リハビリテーション専門職介護予防従事者多職種連携研修会  
2回 107人(1回 52人)

ウ リハビリテーション専門職連絡会議 2回 87人(2回 84人)

エ 生活支援コーディネーター養成研修会 2回 84人(1回 75人)

オ 生活支援コーディネーター連絡会 2回 146人(2回 191人)

## 6 介護支援専門員の養成を行う事業(継続)

### (1) 介護支援専門員実務研修受講試験

介護支援専門員となるための「実務研修」を受講するに際して、事前に介護支援専門員の業務に関する知識や技能を有することを確認するために試験を実施した。

ア 実施時期：令和2年3月8日(日)

(台風19号の影響により、試験日を10月13日(日)から延期したもの。)

イ 受験者数：534人(760人)、合格者数：88人(52人)、合格率：16.5%(6.8%)

### (2) 介護支援専門員実務研修・現任研修等実施事業

#### ① 介護支援専門員実務研修事業

介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者を対象に研修を実施した。

- ・ 実施時期： 1月～3月 88.5時間
- ・ 修了者数： 0人（52人）

② 介護支援専門員更新研修・再研修

実務未経験者で介護支援専門員証を更新する者及び介護支援専門員証を失効した後、再交付を希望する者を対象に研修を実施した。

- ・ 実施時期： 5月～6月 56時間
- ・ 修了者数： 213人（171人）

③ 介護支援専門員専門研修事業（実務経験者の更新研修と同時開催）

介護支援専門員の専門性を高めるため、必要な専門知識、技能の研修を実施した。

ア 専門研修課程Ⅰ（同内容の更新研修を含む）

- ・ 実施時期： 6月～8月 56時間
- ・ 修了者数： 196人（169人）

イ 専門研修課程Ⅱ（同内容の更新研修を含む）

- ・ 実施時期： 9月～11月 32時間
- ・ 修了者数： 448人（412人）

④ 主任介護支援専門員研修事業

介護サービス提供者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するための研修を実施した。

- ・ 実施時期： 9月～12月 70時間
- ・ 修了者数： 117人（112人）

⑤ 主任介護支援専門員更新研修

主任介護支援専門員の継続的な資質向上を図るための定期的な研修機会を確保し、主任介護支援専門員の能力の保持向上を図った。

- ・ 実施時期： 11月～12月 47.5時間
- ・ 修了者数： 87人（178人）

7 介護サービス情報を公表する事業（継続）

介護サービス情報の公表事業

介護保険法第115条の42に基づく指定情報公表センターとして、県が策定する計画に基づき、介護サービス情報の報告の受理に関する事務、介護サービス情報の公表に関する事務等を実施した。 情報公表実施件数 2,276件（2,202件）

## II 被災地支援事業（その他事業1）（継続）

### [被災高齢者等への支援や介護予防を行う事業]

#### 被災地地域包括ケア支援事業

災害公営住宅等へ入居による生活環境の変化に伴う高齢者の心身の機能低下を防止するため、市町村の主催する介護予防事業等の支援等、被災地の地域包括支援センターの業務支援を行った。

(1) 陸前高田市、山田町における介護予防教室等への支援を行った。

- ・ 陸前高田市 14回 182人（10回、185人）
- ・ 山田町 16回 190人（16回 354人）

## III “いきいき岩手”結婚サポートセンター運営事業（その他事業2）（継続）

県内の結婚を望む人を支援するため、岩手県、県内全市町村、関係7団体と連携し、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」を運営。盛岡、宮古及び奥州の3センターで、マッチングシステム等による結婚支援事業を行った。

### 1 マッチング事業の実施結果 ※（ ）は設立時からの累計数

- 会員登録者数 680人（2,329人）
- お見合い件数 300件（1,836件）
- 交際件数 143件（896件）
- 成婚数 23組（81組）
- 成婚者総数 会員同士の成婚162人、会員以外との成婚67人、合計229人

### 2 出張サービス「お出かけi-サポ」の実施結果 ※（ ）は前年度実績

- 釜石市 24回 利用件数 46件（59件）
- 久慈市 24回 利用件数 24件（34件）
- 二戸市 24回 利用件数 27件（41件）
- 一関市 12回（令和元年10月開始） 利用件数 18件（一件）

### 3 結婚支援セミナーの開催（結婚支援団体対象）

- i-サポ結婚支援セミナー in 奥州

県南地域での開催を、との強い要望を受けて初の盛岡市以外での開催。

令和2年2月13日（木） 奥州市「市民文化会館Zホール」 参加者 51人

【テーマ】 「～婚活世代へのアドバイスについて考えてみよう～」

【基調講演講師】 一般社団法人異性間コミュニケーション協会代表理事 佐藤律子氏

【事例発表】 NPO 法人ファンスポルトー関 菊地優也氏、NPO 法人おせっ会 松坂末広氏

#### 4 情報発信

##### (1) ホームページ運営状況

- i-サポの活動状況、成婚者の声、入会手続き情報の発信。
- i-サポ出会い応援団が行う婚活イベント情報の掲示。
- 「社員の結婚応援企業」「i-サポ協賛団体」「結婚支援協定団体」のバナー広告等の掲載。

##### (2) 婚活イベント情報のメールマガジンによる発信

- i-サポ出会い応援団が開催する婚活イベント情報をメルマガ会員に対して発信。
  - ・ 出会い応援団 62 団体、婚活イベント数 127、メルマガ登録会員 470 人

##### (3) i-サポ広報の取組

- 岩手県理容、美容業生活衛生同業組合との結婚支援の協力協定(R2. 1. 10)による i-サポのPR。理容業、美容業の県内組合員 1,601 店舗に i-サポポスターの掲示とリーフレットを配置(両組合員 1,601 事業者)。
- 情報誌等への広告掲載
  - ・ エリア i(アイ)全県カバー保存版情報誌、IBC ラジオ×マ・シェリコラボレーション企画、奥州地区交通ブック、宮古サーモンハーフマラソン日報特別号、奥州市くらしのガイドブック保存版への広告掲載。
- 構成団体のホームページ、広報誌等を活用した広報を実施。

#### 5 地域連携事業

- 岩手県理容、美容業生活衛生同業組合との結婚支援の協力協定を活用した地域における結婚支援機運の醸成(理・美容師による i-サポの紹介等を通じて)。
- 誘致企業、地元企業訪問による婚活支援に対する理解と i-サポ取組みに対する協力依頼。
- 県北広域振興局、県南広域振興局の開催する「結婚支援団体連絡協議会」に参加。i-サポと地域団体との連携啓発等の取組みの研究を進めた。